

プレスリリース（2024年6月21日）

オートリブと国連交通安全基金（UNRSF）が協力関係の更新を発表

World Motorcycle Day（世界自動二輪車デー）の 6 月 21 日、自動車安全システムで世界をリードする Autoliv, Inc. (NYSE 略称: ALV、SSE 略称: ALIVsdb) と国連交通安全基金 (UNRSF) は、世界的な自動二輪車の安全性向上に向けた協力関係の更新を発表しました。この協力関係は、2030 年までに交通事故による死傷者の半減を目指す国連の持続可能な開発目標 3.6 と、年間 10 万人の命を守るというオートリブの目標達成を後押しします。



自動二輪車の安全性確保は、2022 年に始まった両者のパートナーシップに基づき、この協力関係の次の段階へ進むうえで、重要な分野となります。

「[Global Status Reports on Road Safety 2023](#)（交通安全に関するグローバル・ステータス・レポート 2023 年版）」によると、バイク・スクーターの数は 2011 年から 3 倍近く増加しており、世界の全交通死亡事故の約 21% にこれらの自動二輪車が関与しています。

オートリブ CEO のミカエル・ブラット (Mikael Bratt) は、次のように述べています。「当社と UNRSF との協力関係により、世界の交通安全に取り組む団体から洞察を得られるとともに、自動車の安全性における牽引役としての当社の専門知識を共有することができます。パートナーシップや協力関係は、世界の交通死亡重傷事故の削減に取り組むうえで必要不可欠です。自動二輪運転者やその他の交通弱者の安全が大幅に向上されると確信しています。UNRSF とその世界各地に広がるパートナーのネットワークと密接に協力することで、道路をより安全にすることができると思います。」

オートリブと UNRSF のパートナーシップは、洞察や知識、データの共有を通じ、国際連合の諸機関、NGO 団体、テクノロジープロバイダーなどの世界の交通安全に取り組む団体が、協力して必要な変革を推進することを促していきます。

UNRSF 事務局長を務めるネカ・ヘンリー (Nneka Henry) 氏は、次のように述べています。「自動二輪車事故の死亡者数増加に対し、グローバルでのマルチステークホルダーなアプローチが求められています。オートリブがコミットメントを更新し、この危機的課題に対処するうえでリーダーシップを発揮することを歓迎します。我々のリソースと専門知識を持ち寄ることで、自動二輪車をすべての人にとってより安全にするための効果的なソリューションを開発・実装できると期待しています。」

オートリブのコミットメントは、2025 年 2 月に予定している第 4 回交通安全に関する閣僚級会合期間中に開催される「[ロード・トゥ・モロッコハイレベル・プレッジング・フォーラム](#)」への重要な一歩です。

自動二輪車の安全性に関わる重大な課題やソリューションをさらに模索するため、オートリブと UNRSF は共同で、2024 年 6 月 25 日 9:00~10:30 (CET) に世界的な自動二輪車の安全性強化に関するラウンドテーブルディスカッションを開催します。オンラインと国連ジュネーブ本部でのオンサイト両方でのハイブリッド開催を予定しています。詳細は marianelly.diaz@un.org までお問い合わせください。

以 上

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Media: media@autoliv.com, Gabriella Etemad, Tel +46 (0) 8 58 720 602 or Emelie Ericson +46 (0) 8 58 720 635

Investors & Analysts: ir@autoliv.com, Anders Trapp, Tel +46 (0) 8 587 206 71

Investors & Analysts: Henrik Kaar, Tel +46 (0) 8 587 206 14

オートリブ グローバルについて

Autoliv, Inc. は、自動車安全システムをグローバル規模で提供するリーディングカンパニーです。当社は子会社を通して、世界中の主要自動車メーカー向けに、エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール（ハンドル）などの安全保護システムを開発、製造および販売しているほか、歩行者保護、二輪車のライダー向けのコネクティッドセイフティサービスや安全ソリューションも開発しています。オートリブでは、継続して先進的なソリューションを提供するために、モビリティセイフティのスタンダードに挑戦し、再定義しています。

25カ国に広がる約70,000人もの従業員は、「Saving More Lives（より多くの命を守る）」という当社のビジョンに真摯に取り組んでおり、どんな業務においても品質を最も重視しています。14カ所にテクニカルセンターを配置し、20の衝突試験装置を保有しています。2023年度の売上高は、105億米ドルです。株式をニューヨーク証券取引所（NYSE: ALV）に、スウェーデン預託証券をナスダック・ストックホルム（ALIV sdb）に上場しています。

オートリブ株式会社（オートリブ 日本法人）について

オートリブは1987年に日本でオフィスを立ち上げ、35年以上もの間、主に日本の完成車メーカー向けに自動車を含めたモビリティの安全ソリューション（エアバッグ、シートベルト、ステアリングホイール）を開発・提供しています。

ルなど)の開発、製造、販売を行っています。日本のお客様の営業窓口としてグローバルでも重要な拠点であり、テクニカルセンター、生産工場(筑波事業所・中部事業所・広島事業所)、営業拠点を日本国内に持ち、2,000人以上の従業員が働いています。

2023年度の売上高は、1,221億2,900万円です。

さらに詳しい情報は、以下を参照してください。

www.autoliv.com オートリブグローバルサイト (英語)

www.autoliv.jp オートリブ株式会社 (日本) オフィシャルコーポレートサイト (日本語)

www.instagram.com/autolivjapan オートリブ株式会社 (日本) 公式Instagram (日本語)

国連交通安全基金 (UNRSF) について

国連交通安全基金は、さまざまな資金源からの資金を動員し、これらの資金を世界中で効果が高く拡張性があり、持続可能な交通安全プロジェクトに振り向けています。この基金は5つの地域、88カ国で活動しており、学区のより良い都市計画の策定、低排出ガスの非電動輸送、速度管理、よりクリーンで安全な中古車基準などの取り組みを支援しています。

[Welcome to United Nations Road Safety Fund | United Nations Road Safety FundUNRSF](#)

セーフハーバー (免責) 事項

本文書には、歴史的事実ではなく、1995年の民事証券訴訟改革法にて定義される範囲内で将来の見通しに関する記述とみなされる記述が含まれています。そのような将来の見通しに関する記述には、オートリブまたはそのマネジメントが、将来起こるであろうと考えるまたは予想する活動、事象または展開を示す記述が含まれます。すべての将来の見通しに関する記述は、現時点での我々の期待、さまざまな仮定および第三者から入手したデータに基づいています。我々の期待と仮定は誠実に表現されており、それらには合理的な根拠があると考えています。しかしながら、そうした将来の見通しに関する記述が実現する、または正しいと証明される保証はありません。なぜなら、将来の見通しに関する記述は、本質的に既知または未知のリスク、不確実性およびその他の要因の影響を受けることになり、それらが、そうした将来の見通しに関する記述によって示されるまたは暗示される将来の結果、実績または成果とは実際には大きく異なる将来の結果、実績または成果をもたらす可能性があるからです。数多くのリスク、不確実性およびその他の要因が、将来の見通しに関する記述にて示される結果とは実際には大きく異なる結果をもたらす可能性があります。本書またはその他の文書に含まれる将来の見通しに関する記述について、当社は、1995年の民事証券訴訟改革法に示される、将来の見通しに関する記述に対するセーフハーバー (免責) の保護を主張します。また、当社は、法律にて要求される場合を除き、新しい情報または将来の事象を踏まえて将来の見通しに関する記述を公に更新または修正する義務を負いません。

※本資料は 2024 年 6 月 21 日にオートリブ本社 (スウェーデン) で発表されたプレスリリースの日本語版です。英語版は以下のリンクからご確認ください。

<https://www.autoliv.com/sites/default/files/pr/202406183315-1.pdf?ts=1718949626>